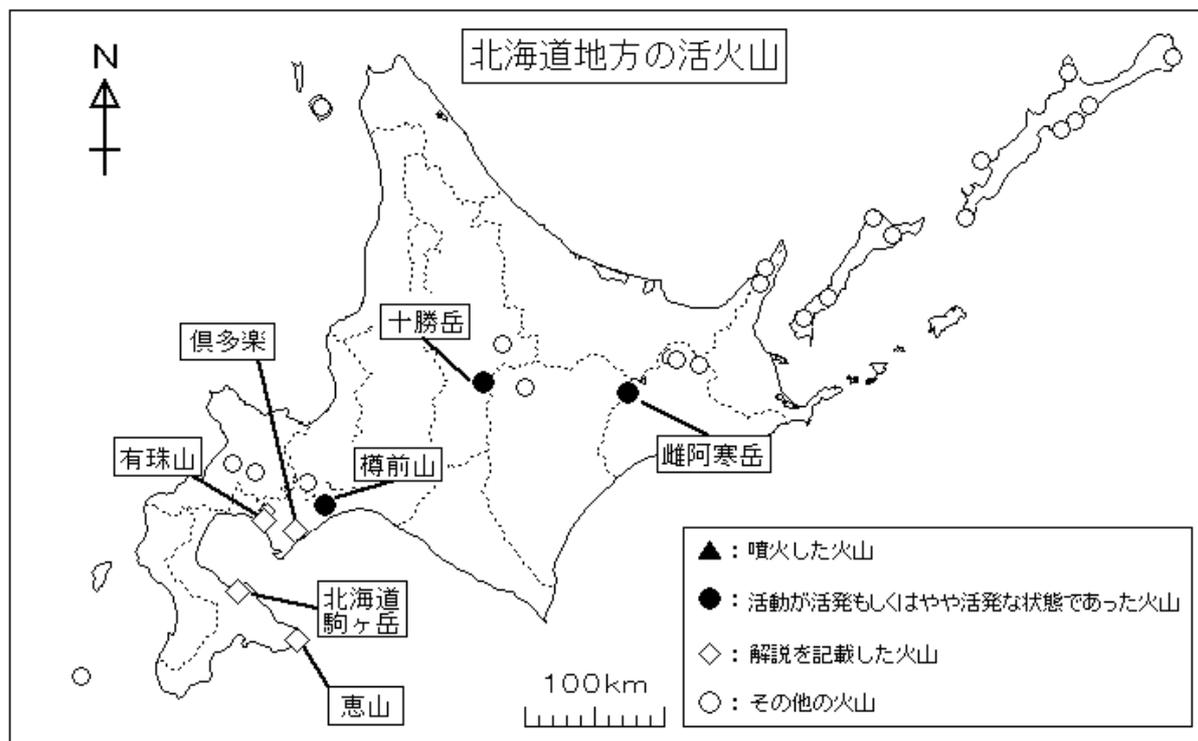


北海道地方の火山活動解説資料（平成18年8月）

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



十勝岳、樽前山では、引き続き火山活動はやや活発な状態となっています。
雌阿寒岳ではやや活発な状態から静穏な状態となりました。

●雌阿寒岳 [静穏な状況←25日にやや活発な状態から引き下げ]

最近のポンマチネシリ山頂の赤沼 06 火口群や北西斜面 06 噴気孔列の噴煙活動は静穏に経過しています。地震活動も低調な状態が続いており、GPSによる地殻活動にも特段の変化が認められていないことから、火山活動は静穏な状態になりました。

●十勝岳 [やや活発な状況]

62-2 火口は高温の状態が続いていると推定され、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

●樽前山 [やや活発な状況]

A火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いています。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

◇倶多楽 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。

◇有珠山 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。

◇北海道駒ヶ岳 [静穏な状況]

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている昭和4年火口からの弱い噴気は引き続き観測されています。

◇恵山 [静穏な状況]

火山活動は静穏な状態です。

次の火山活動解説資料（平成18年9月分）は平成18年10月10日公表の予定です。この資料はホームページでも閲覧することができます（札幌管区气象台 <http://www.sapporo-jma.go.jp> 気象庁 <http://www.jma.go.jp>）。この火山活動解説資料は気象庁の他、北海道のデータも使用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています。（承認番号 平17総使、第503号）